

第5章

地域別構想

第5章 地域別構想

1. 地域別構想について

1-1. 地域別構想とは

地域別構想は、日常の生活空間である各地域の特性や課題に応じて、目指すべき地域の将来像とその実現に向けたまちづくりの方針を示すものです。

1-2. 地域区分の考え方

歴史的な経緯や地域特性により、ある一定のまとまりをもってまちづくりを考える地域を設定する必要があります。そこで、地域別構想ではまちづくり活動や身近な生活圏等を一つのまとまりとして設定します。

本計画では、地域づくりの拠点となる公民館がある旧町村単位の6地域に区分し、近永地域、好藤地域、愛治地域、三島地域、泉地域、日吉地域とします。

なお、各地域は、それぞれが生活に必要な都市機能を全て備えた生活圏を形成するものではなく、地域ごとの特性をいかして都市機能を分担し、各地域が補完することで充実した生活圏を形成することを目指します。

表 5-1 合併による鬼北町誕生の流れ

年	内容
昭和30年（1955年）	近永町、好藤村、愛治村、三島村、泉村の5町村が合併し、広見町が誕生
平成17年（2005年）	広見町と日吉村が合併し、鬼北町が誕生

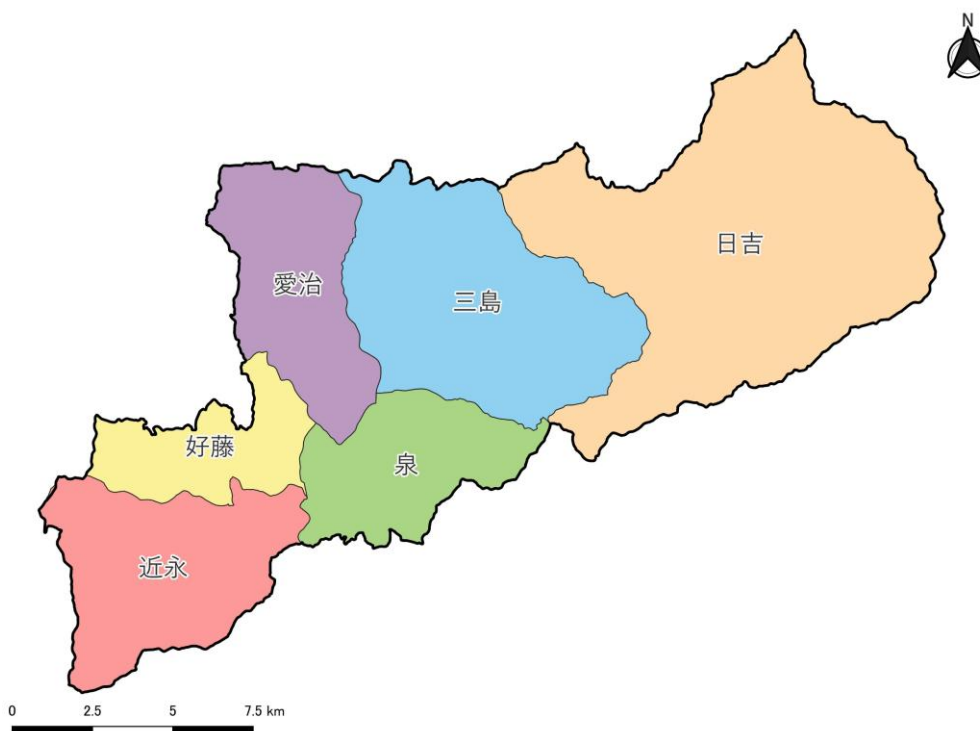


図 5-1 地域区分図

2. 各地域のまちづくり方針

2-1. 近永地域

(1) 地域の概況

- 近永地域は、本町の南西部に位置し、四万十川水系の支流である三間川と奈良川の間
に市街地が形成されており、役場をはじめ、
広見保健センターや総合福祉センターなど、
行政機能が集積している本町の中心部です。
- JR 近永駅周辺の商店街には、昭和初期ご
ろに建築された町家や施設が残り、レトロなま
ち並みを有しています。
- 鬼北総合公園や道の駅広見森の三角ぼう
し、国指定史跡である奈良山等妙寺史跡公
園歴史交流館など、町外の来訪者が訪れる観光施設が点在しています。
- 雄大な自然美を感じることができる成川溪谷には、食事と宿泊ができる成川溪谷休養センターや日帰り
入浴ができる高月温泉があります。

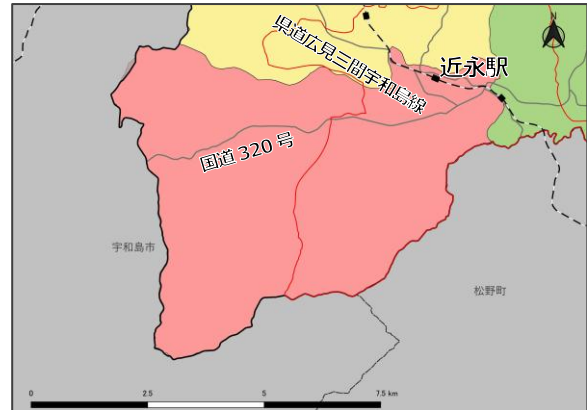


図 5-2 近永地域 位置図



道の駅広見森の三角ぼうし



成川溪谷休養センター



鬼北総合公園



等妙寺史跡公園歴史交流館

図 5-3 地域の概況

(2) 地域の将来像

みんなが集う、つながるまち 近永

(3) 地域のまちづくり方針

【土地利用】

- ・行政施設・教育・文化・医療・福祉などの都市機能が集積する近永駅周辺は、都市機能誘導区域として暮らしに必要な機能の維持・誘導を行います。
- ・レトロな景観を残す商店街周辺は、まちづくりの中心として交流の機会を創出し、活性化を図ります。
- ・永野市交差点（国道320号と国道381号の交差点）を中心とした沿道においては、住環境との調和を図りながら、商業施設や生活支援サービス施設を誘導します。
- ・居住誘導区域への居住を誘導するとともに、緑豊かでゆとりある住環境の確保を図ります。
- ・空家等対策計画に基づき、空き家や空き店舗の適切な管理及び利活用を推進します。

【道路・交通】

- ・町の玄関口となる近永駅周辺は、町の情報発信や賑わい創出の拠点として施設の整備に取り組むとともに、地域公共交通の利便性向上のための駅舎及び待合所のバリアフリー改修、駐車場整備や道路拡幅による歩行空間の確保を図ります。
- ・国道320号や県道広見三間宇和島線、主要な生活道路については、快適な走行環境のための必要な改良や整備に努めます。
- ・公共交通においては、町の交通結節点として、各公共交通機関の相互接続を踏まえた利便性の向上を図ります。

【都市施設・公共施設】

- ・鬼北総合公園は、市民の憩いやレクリエーション、健康・スポーツ、防災など多様な機能の維持・充実を図ります。
- ・国指定史跡である奈良山等妙寺史跡公園及び歴史交流館は、人々が訪れる文化施設として活用を図ります。
- ・奈良川緑地公園は、各種イベントの実施など、親水空間として活用を図ります。
- ・近永公園は、住民の日常的なスポーツ・レクリエーションの場として適切な維持管理と活用を図ります。
- ・道の駅広見森の三角ぼうしは、特産品の販売による町のPRや情報発信の拠点として、地域振興や交流の促進を図ります。

【自然環境保全】

- ・市街地周辺の山林や農地については、維持・保全を引き続き進めます。
- ・本町の優れた自然資源であり、国立公園にも指定されている成川渓谷については、適切な維持管理を行うとともに、周辺施設の成川渓谷休養センターや高月温泉とともに、活用に努めます。



2-2. 好藤地域

(1) 地域の概況

- 好藤地域は、本町の西部に位置し、広がる田園風景と、その中を走る汽車の景色が魅力の農村地域です。
- JR 深田駅があり、中心部である近永地域に接しています。
- 地域を西北から東南方向に流れる三間川流域は土地が肥沃で、豊かな土壌から育まれるコメが特産品となっています。
- 内深田地区の大本神社にある群生のサクラは天然記念物に指定されており、社殿の左右には伊達桜があります。
- また、近永地域と三間地域（宇和島市）の間には泉が森がそびえ、登山スポットとして古くから地域に親しまれています。



図 5-4 好藤地域 位置図



深田駅



予土線と田園風景



伊達桜



泉が森

図 5-5 地域の概況

(2) 地域の将来像

豊かな水と土が育む田園景観のまち 好藤

(3) 地域のまちづくり方針

【土地利用】

- ・既存集落は、ゆとりある住環境の維持・保全を図ります。
- ・集落周辺の山林については、林業基盤として保全を図るとともに、農地については、ため池や農業用排水路など、営農環境に必要な施設整備に努めます。

【道路・交通】

- ・国道441号や県道広見三間宇和島線、主要な生活道路については、快適な走行環境のために必要な改良や整備に努めます。
- ・生活サービス施設が集積する市街地へのアクセス確保を図るため、地域の実情や需要に合った持続可能な地域公共交通の形成に努めます。

【都市施設・公共施設】

- ・地域のニーズに応じた公共施設の改修を進めるとともに、長期的な視点を持って施設の機能集約や再配置を検討します。

【自然環境保全】

- ・本町の優れた自然資源である山林・河川を保全するとともに、グリーンツーリズムなど、広域的な観光・レクリエーションを推進するための必要な仕掛けづくりや施設整備を検討します。
- ・三間川流域の農地と水田については、魅力ある農村景観の保全を図ります。



2-3. 愛治地域

(1) 地域の概況

- 愛治地域は、本町の北西部に位置し、西側を宇和島市、北側を西予市と接する地域です。
- 国道441号と県道小倉三間線が地区の中心を縦横に走り、その沿道に農村集落が広がっています。
- 内山展望台からは本町一带の景色を見渡すことができ、観光施設となっているほか、山々に囲まれた盆地で、清流豊かな大宿川上流では、5月下旬頃にホタルが舞う幻想的な光景がみられます。
- 清水五ツ鹿踊りや西野々獅子舞保存会、どんど焼きなど、地域の伝統行事が現在まで継承されており、地域のつながりとなっています。

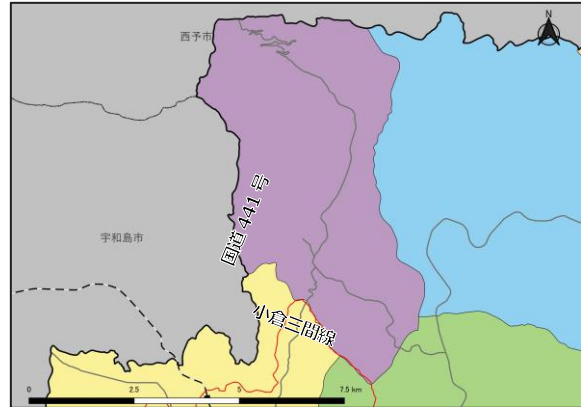


図 5-6 愛治地域 位置図



内山展望台からの景色



清水五ツ鹿踊り



どんど焼き



西野々獅子舞保存会

図 5-7 地域の概況

(2) 地域の将来像

自然と伝統が息づくまち 愛治

2-4. 三島地域

(1) 地域の概況

- 三島地域は、本町の中央部に位置しており、国道320号が東西に横断し、広見川沿いを中心に集落が形成されています。
- 小松・延川地区には、公民館（簡易郵便局併設）、診療所、小学校、認定こども園など、生活に必要な施設が集積しています。地区住民が主体となり立ち上げた三島ふれあいタクシーが運行されています。
- 延川地区には、鬼北熟成まじの飼育・加工施設の鬼北まじ工房や、有害鳥獣処理施設、ジビエペットフード加工施設があり、捕獲鳥獣の有効活用が進められています。
- 三島グラウンドは夜間照明を備え、クローカーや少年野球など、年間を通じてスポーツ活動に利用されています。
- 安森洞そうめん流しや川上り駅伝大会など、地域を盛り上げるイベントが開催されています。

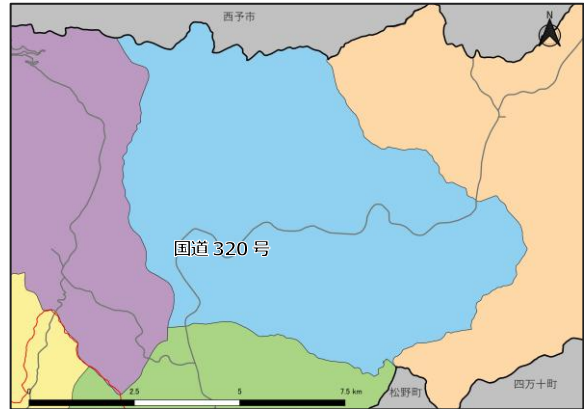


図 5-8 三島地域 位置図



三島公民館



安森洞そうめん流し



川上り駅伝大会



三島ふれあいタクシー

図 5-9 地域の概況

(2) 地域の将来像

ふれあいが育む、笑顔あふれるまち 三島

2-5. 泉地域

(1) 地域の概況

- 泉地域は、本町の中央部に位置し、広見川に沿って両岸に集落が形成されています。
- 興野々橋は、大字興野々と出目を結ぶ地区最初の鉄筋コンクリート橋で、大正 12 年度に完成しました。
- 鷹ノ巣山は興野々・出目・三地点をまたぐ地域のシンボルで、泉小学校の校歌にも歌われています。
- 興野々地区の高鴨神社は、地域住民の信仰を集め、子どもたちの遊び場としても親しまれています。
- 轟の甌穴群は広見川にみられる甌穴群の中で最大規模であり、奇岩や怪石の中に数百個の甌穴が群集する迫力ある景観が広がります。
- 岩谷遺跡、寺山遺跡など古代の遺跡が残されており、職員により復元された竪穴建物が展示され、歴史を学べるスポットとなっています。

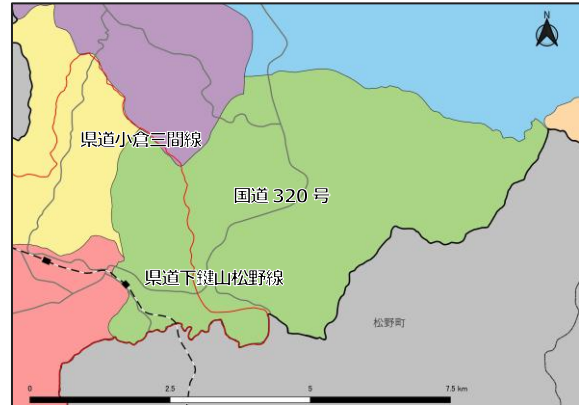


図 5-10 泉地域 位置図



興野々橋



轟の甌穴群



岩谷遺跡



興野々寺山遺跡

図 5-11 地域の概況

(2) 地域の将来像

歴史と自然のなかで育まれる谷あいのまち 泉

2-6. 日吉地域

(1) 地域の概況

- 日吉地域は、本町の東部に位置し、地域の北部は西予市、東部・南部は高知県に接しています。
- 下鍵山地区は、国道197号と国道320号が交差する四国西南部の交通の要衝であり、鬼北町役場日吉支所、日吉小学校・中学校、国保日吉診療所・保健センター、日吉トレーニングセンター、住民センターなどの行政施設が集積しています。
- 文化施設が集積する明星ヶ丘文化施設には、歴史民俗資料館、武左衛門一揆記念館、大野作太郎地質館、明星草庵が整備され、先人の功績や地域の歴史文化を伝えています。
- 四万十川源流の支流の一つである節安溪谷沿い等には、自然体験ができる節安ふれあいの森や道の駅日吉夢産地などの観光施設を有しています。

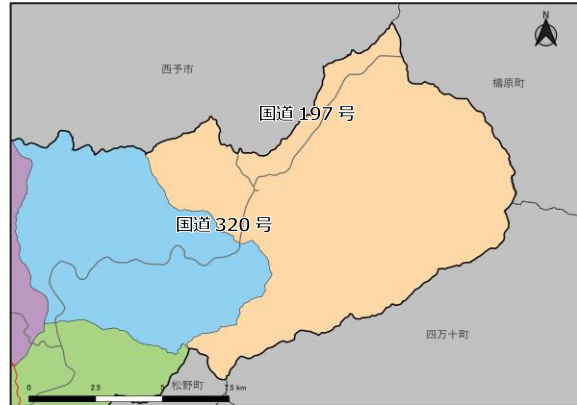


図 5-12 日吉地域 位置図



鬼北町役場日吉支所



明星ヶ丘文化施設



下鍵山の風景



節安ふれあいの森

図 5-13 地域の概況

(2) 地域の将来像

自然と文化がつながる交流のまち 日吉

